

★指導目標

4つのF = 4 F = for the future ~未来のために必要なこと。~

- 1: **Fundamental**
- 2: **Force**
- 3: **Foresight**
- 4: **Focus**

PAT共有ゼミナールでは未来を生きる子供たちに必要な4つの力を4つのFとして表しています。そしてこのFはfutureのFでもあるのです。その一つFundamentalは人間としての基礎力。基本的な人間としての心がなければどんなに能力を持っていたとしてもよりよく生きることはできません。このベースとなる基礎力を養成することは21世紀の塾の目標として重要であると考えています。

しかし実力=Forceがなければ目標を達成することはできません。目標達成の具体的な力を持つことがより重要であると考えます。また、身につけた力をより効率的に生かすためには、将来を展望する力(予見力)=Foresightが必要です。不透明な時代といわれる今だからこそ、未来を予想する想像力を持った人材が求められています。また、同時にどこが重要なポイントであるかを見抜く、いわば、Focusするための力が求められます。焦点を絞り込んでいなくては、どれほどの力が有ろうとそれを自らや社会で生かしていくために不十分であると考えています。

PAT共有ゼミナールが指導目標として掲げるのはこの4つの力を自ら身につけられる成長力を持った生徒さんに塾生すべてがなっていってほしいということなのです。未来はいくらでも変えることが可能です。そのために小中高という12年間で4つの力を身につける。そのお手伝いをPAT共有ゼミナールはお手伝いさせていただきますと考えています。



★指導方針

4つのU = 4 U = for you ~あなたのために必要なもの。~

- 1: **Understand**
- 2: **Unique**
- 3: **Unlimited**
- 4: **Universality**

上記4Fの指導目標を果たすためにPAT共有ゼミナールが掲げるのは4つのUからなる指導方針です。これを4U(フォー・ユー)=For youといいます。まずはUnderstand=理解すること。授業は若干学校の先取りになります。初めて塾で聞くという内容も多いはずですが、また、難しいことも。それをすべての生徒さんに理解していただくことが指導方針です。落ちこぼれや落ち

こぼしを作しません。学校内容を入試や定期テストに合わせ、将来的に困らないレベルで講義していきます。これを理解できるまで、独自の手法(Unique)でとことん(Unlimited)説明・演習していきます。長年の経験に基づき、また、最新の入試や定期テストの分析結果から定着するまで徹底的にやりこみ定着をさせていくという方法を用いています。ただし、授業は常に講義形式で演習時間は授業内であまり設定していません。宿題を課すことで家での学習習慣の定着を図っていくという形で進めています。

授業時には必ず宿題チェックを行います。と同時に知識を中心とする科目に関しては幅広く様々な内容(Universality)を伝えていき、定着度をはかっていきます。簡単に申し上げれば、「わかりやすく、独自の手法で、多様な知識をトコトン指導し、理解していただく」のがPAT共有ゼミナール指導方針といえるでしょう。なおかつ、集団指導を担当する教員は代表のみ。指導を他人任せにせず少人数で最後まで責任をもって面倒を見てまいります。

また、上記4Fに基づき高専入試や大学入試をゴールとは定めません。したがって、入試で点数が取ればよいという近視眼的な指導を行わないことも指導方針の一つです。あくまでも現状を考えて、将来的に必要とされることであれば学年を越えて指導内容を改変することも可能性としてあります。すべてはなりたい自分になるためのステップとして塾の指導をとらえていきます。

親目線・生徒目線の指導も方針の一つです。教える側が面白いともうことよりも生徒がどう受け止めるかを考えながら授業は構成されます。

以上がPAT共有ゼミナールにおける指導方針の主な柱といえます。

★代表より



皆様こんにちは。代表の鍛冶修平です。2013年2月。PAT共有ゼミナールをこの地に開校いたしました。私自身が目の届く範囲ですべての科目を責任を持って指導したいと思っています。ホームページなどと同じことを書いても面白くありませんのでちょっと違うことを書こうかなと思いました。私自身、子供が5人います。高1がトップで幼稚園児まで。まず、親目線の塾を作りたいと思いました。基本的に塾はお客様本位という点でほかの企業に比較し遅れている部分があるというのは30年余り、塾業界最大手といわれる企業を渡り歩いた結果、思う部分です。企業としての塾が求めることと親の思いというのは必ずしも一致するわけではない。僕が作るのは親の思いと塾の考えがかなりな部分で一致する塾でありたいと思っています。そのために、方向性としてPATがあり、4Fと4Uがあります。まだできたての塾ですがよろしくお願いたします。

★指導理念

P・A・Tとは=《理想の生徒像》

Process《過程》

私たちは成績向上、あるいは目標達成に至る過程を重視します。また、問題を解くための過程を重視します。結果のみを追い求めるのではなく、そのための流れを把握しなければ真の意味での成績向上を望めないと考えからです。そして、それは生徒さん自身が身につけなければならないことだと考えます。やみくもに結果ばかりを追い求めることは将来に必ずしもプラスではないと考えるからです

Achievement《目標達成》

しかし、過程のみで望んだ結果が求められるわけではありません。そこでしっかりした目標設定が必要となります。なりたい自分になるために、小さな目標達成を積み重ねていくことが大切だと私たちは考えます。自ら目標を設定し、そのために何が必要かを考えること。この習慣作りが、将来にわたって社会で大きく飛躍する人間としての基礎力になると考えています。

Try《挑戦》

そして、目標達成のためには挑戦が欠かせません。このサイクルの繰り返しによって子供たちは自分たちの最終目標に近づいていくことができるのです。今現在、あるいは将来にわたって挫折や敗北というのはかなりの確率で子供たちの身に降りかかります。しかし、そこから立ち上がり何度も立ち向かっていくことこそが大事であると私は考えます。そのための折れない心を育てるのが私たちの役割であると考えています。そのサポートを通じて、自分の人生の主役になれる子供をはぐくんでいきたいと考えています。